

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ニュージーランド大使館

記入日 平成 25 年 7 月 31 日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

資料名：なし

URL：なし

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	<p>Key lays down gauntlet on rail loop jump-start</p> <p>キー首相は、オークランドの地下鉄プロジェクトに関しオークランド市が一定の条件を満たせば2020年の着工を早めうると述べたものの、その条件の達成は難しい。</p> <p>http://www.nzherald.co.nz/nz/news/article.cfm?c_id=1&objectid=10893701</p> <p>※オークランドの交通プロジェクト→「4.」参照</p>	2013/6/29 NZ Herald	あり (電子版に掲載されていない概要図のみ)
2	<p>Arrow joins with Chinese construction giant</p> <p>ニュージーランドの大手建設会社のひとつであるアロー・インターナショナル社は、中国最大（世界で2番目）の建設会社である中国建築公社との提携を発表。今後、クライストチャーチの復興事業への参入を目指す。</p> <p>http://www.stuff.co.nz/the-press/business/the-rebuild/8927208/Arrow-joins-with-Chinese-construction-giant</p>	2013/7/17 The Press	なし

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

■オークランドの交通プロジェクト

6月28日、キー首相は、オークランド商工会の会合で、オークランドの交通プロジェクト等についてスピーチ。プロジェクトの中には、3つの新規事業への国のコミットメントが含まれる。これらの事業費の総額は約100億ドル（約8000億円）。

- (1) ハーバー・トンネル（第2ワイテマタ湾横断道路） =新規

オークランドの都心と北部地域を結ぶ海底トンネル

事業費：約46億ドル

事業期間：2025～2030年

- (2) シティ・レール・リンク =新規

ブリットマート駅とマウントイーデン駅を結ぶ地下鉄（環状線を形成）

事業費：28.6億ドル

事業期間：2020～2025年

- (3) 東西接続道路 =新規

西部自動車道と西南自動車道を結ぶ自動車道接続（AMETIとあわせて
東部地域とイーストタマキ工業地域のアクセスを改善）

- (4) オークランドーマスカウ東部交通イニシアティブ（AMETI） =事業中

- (5) 高速道路20A線グレードアップ（空港アクセス改善） =事業中

- (6) 南部自動車道（マスカウーパパクラ）拡幅 =事業中

- (7) アッパー・ハーバー道路ー北部自動車道接続 =事業中

※オークランド市の人口は、現在約150万人（ニュージーランド全体の約1/3）であり、20年後には200万人に到達する見込み。交通インフラと住宅が喫緊の課題とされている。

※事業費・事業期間は新聞情報による。

<http://www.beehive.govt.nz/release/pm-signals-next-generation-auckland-transport-projects>

<http://www.beehive.govt.nz/speech/backing-auckland-speech-auckland-chamber-commerce-sky-city-convention-centre>

■国際会議場の建設計画

7月5日、ジョイス経済開発大臣は、オークランドの国際会議場の建設・運営に関し、政府とスカイシティ社が最終合意したと発表。

国際会議場は3500人規模で、2017年のオープンを予定。事業費は4億2000万ドル（建設費：3億1500万ドル+用地費：8700万ドル）

スカイシティは、オークランド市街地にあるニュージーランド最大のカジノ施設等の娯楽施設を営業。今回の合意により、スカイシティは2048年までのカジノ営業の許可等を得る代わりに、国際会議場にかかる費用を全て負担する。

<http://www.beehive.govt.nz/release/final-convention-centre-agreement-signed>